

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

### 1. 基本方針

市民病院機構は、患者受け入れに際して病院ごとに役割を分担し、相互に連携を図るとともに、総力を挙げて取り組むことを基本方針としている。

### 2. 市民病院機構での対応

#### (1) 概況

中央市民病院は市内で唯一重症患者に対応する特定病院として兵庫県の指定を受け、対策本部設置のもと重症患者を中心に患者を受け入れてきた。感染症に対する豊富な経験や防護具の着脱訓練をした医療従事者により感染防御を行っていたが、4月9日には新型コロナウイルスの想定を超えた強い感染力により、中央市民病院で院内感染が発生した。多数の自宅待機者が発生する中、増加する重症患者の治療に医療従事者を重点配置するために、医療機能を縮小しながら新型コロナウイルス感染症患者の対応に当たった。また、西市民病院や西神戸医療センターでは、軽症・中等症患者を受け入れるとともに中央市民病院と連携し、患者の症状に応じた転院受け入れ体制を構築するなど市民病院機構が一丸となって対応に努めた。

4、5月の第一波の経験をもとに、中央市民病院では新型コロナウイルス感染症患者への治療と、高度専門医療の提供を両立するため、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに特化した臨時病棟を整備した。また、遠隔医療システムの導入では、中央市民病院の知見を他の市内医療機関に共有し、感染症患者の受け入れを支援している。中央市民病院が重症患者に重点的に対応できる環境を整えることで、各病院における軽症・中等症患者向け病床の確保を促進し、市内全体の医療提供体制の充実を図っている。

11月には再び市内の感染者数が急増し、各病院での患者の受入れも拡大する中、西市民病院で院内感染が発生した。感染範囲の特定を迅速に行いすみやかに対策を講じることで、感染の拡大防止に努めている。また、機構全体の受け入れ体制を強化するため、西市民病院・西神戸医療センターにおいても救急外来を改修し新型コロナ疑い患者用の診察室を増室するなど施設改修を進めるとともに、人工呼吸器など医療資機材の整備を進めている。

各病院とも引き続き感染拡大に合わせて必要な病床を確保し、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れおよび治療を行ってまいりたい。

#### (2) 入院患者累計 (令和2年12月13日現在)

| 中央市民病院 | 西市民病院 | 西神戸医療センター | 計    | 市内医療機関合計 | (参考)市内患者発生数 |
|--------|-------|-----------|------|----------|-------------|
| 241人   | 140人  | 129人      | 510人 | 1,129人   | 2,649人      |

※市内の新型コロナウイルス感染症入院患者の約5割を受け入れ

### 3. 各病院の役割・機能

|         |              | 中央市民病院  | 西市民病院                           | 西神戸医療センター                       |
|---------|--------------|---|---------------------------------|---------------------------------|
| 対応状況    |              | 重症患者を中心に医療を提供<br>(新型コロナウイルス感染症重症等特定病院)  | 軽症・中等症患者への医療を提供<br>(感染症対策加算1病院) | 軽症・中等症患者への医療を提供<br>(感染症対策加算1病院) |
| 外来検査体制  | 旧 帰国者・接触者外来  | 2月5日～ 設置  | 3月23日～ 設置                       | 3月11日～ 設置                       |
|         | 発熱等診療・検査医療機関 | 10月21日～ 指定  | 10月20日～ 指定                      | 10月20日～ 指定                      |
| 3病院間の連携 |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の重症度に応じた3病院間での転院受け入れ体制の構築</li> <li>・遠隔医療システムによる中央市民病院の知見の共有ならびに受入れ支援</li> <li>・臨時病棟運営のための、集中治療に対応可能な看護師の育成ならびに西市民病院・西神戸医療センターからの看護師応援体制の構築</li> </ul> |                                 |                                 |

### 4. 新型コロナウイルス感染症が経営に与える影響

#### ○上半期の経営状況

医療機能の縮小に伴う患者減や、受診控えなどの影響により、上半期は法人全体で、入院・外来収益は56億円の減収（対前年同期比▲17.6%）となった。

<参考：各病院の入院・外来収益と主要指標（上半期）>

|         | 中央市民病院 |                 | 西市民病院 |                 | 西神戸医療センター |                 | アイセンター病院 |                | 法人全体   |                 |
|---------|--------|-----------------|-------|-----------------|-----------|-----------------|----------|----------------|--------|-----------------|
| 入院収益    | 87億円   | ▲38億円<br>▲30.1% | 30億円  | ▲2億円<br>▲6.0%   | 45億円      | ▲4億円<br>▲8.6%   | 3億円      | ▲1億円<br>▲29.4% | 165億円  | ▲45億円<br>▲21.4% |
| 入院患者数/日 | 452人   | ▲237人<br>▲34.4% | 276人  | ▲45人<br>▲14.1%  | 331人      | ▲58人<br>▲14.8%  | 18人      | ▲5人<br>▲20.1%  | 1,077人 | ▲344人<br>▲24.2% |
| 外来収益    | 47億円   | ▲6億円<br>▲11.6%  | 14億円  | ▲2億円<br>▲12.5%  | 30億円      | ▲3億円<br>▲7.7%   | 4億円      | ▲0億円<br>▲1.3%  | 95億円   | ▲11億円<br>▲10.1% |
| 外来患者数/日 | 1,378人 | ▲498人<br>▲26.6% | 753人  | ▲132人<br>▲14.9% | 1,374人    | ▲255人<br>▲15.6% | 165人     | ▲25人<br>▲13.1% | 3,670人 | ▲909人<br>▲19.2% |
| 収益合計    | 134億円  | ▲44億円<br>▲24.5% | 44億円  | ▲4億円<br>▲8.2%   | 75億円      | ▲7億円<br>▲8.3%   | 7億円      | ▲1億円<br>▲14.9% | 260億円  | ▲56億円<br>▲17.6% |

※各項目の右列は前年同期比（増減、増減率）

### 5. 医療物資等の支援

#### (1) 寄付受け入れ状況（12月13日現在）

感染症対策に必要なガウンやマスク等の確保が厳しい状況となる中、多くの市民・企業・団体の皆様から多くのご支援をいただいた。

（マスク約28万枚、ガウン等約1万着、寄付金約50百万円等）

#### (2) こうべ医療者応援ファンド（第一次配分）

新型コロナウイルス感染症に関わる医療従事者を支援する目的で設立された「こうべ医療従事者応援ファンド」から市民病院機構に対して1.7億円の支援金をいただき、特殊勤務手当の追加支給などの経費に充てた。